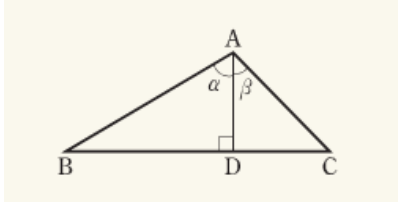


	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 10分	○前回の内容の復習をする。	○小テストを各自解答する。	○ 解答はロイロノートで提出をする。
展開 30分	<div>○本時の問題内容を確認する。</div> <div> <math>\cos(\beta - \alpha) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta</math> を証明しよう。         </div> <div>○単位円上の<math>PA^2</math>を2通りの方法で表す。</div>	○2人1組のペアとなり、片方が2点間の距離の公式を用いて求め、他方が余弦定理を用いて表す。	○以下の証明は、厳密性に欠けることを明示しておく。

<p>&lt;加法定理&gt; <math>\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta</math> を証明しよう。</p>			
	<p>○<math>\triangle ABC = \triangle ABD + \triangle ADC</math> であることから加法定理を証明する。</p> <p>○今回の2つの証明が厳密性に欠ける部分はどこだったか考察する。</p>	<p>○2人1組のペアとなり、片方が<math>\triangle ABD</math>を求め、他方が<math>\triangle ADC</math>を求める。</p>	 <p>○それぞれが自由に討論してもよい。</p>
まとめ 10分	<p>○それぞれで厳密性に欠けていた部分についてカードを提出し、どのような解答を作成すればいいか全体で共有する。</p>	<p>○ロイロノートでカードを提出する。</p>	<p>○図形を用いると限定した角度についてしか用いることができないことを確認する。</p>

## 1 0 本時の評価規準

学習の目標	評価方法	評価基準		努力を要すると判断された生徒への対応 (c)
		おおむね満足できると判断できる状況 (b)	十分満足できると判断する状況 (a)	
加法定理の証明を理解することができる。	ロイロノートの記述により理解できているかを評価する。	加法定理の証明を理解することができる。	加法定理の証明の厳密性について考察し、自分の意見を述べることができる。	机間指導の際に、式変形の仕方を指導する。

## 1 1 御高評